

2016年12月22日 第4回公認心理師カリキュラム等検討ワーキングチーム

臨床心理士養成大学院附属臨床心理相談室の状況について ― 紀要に基づく推計 ―

臨床心理士養成大学院協議会 川畑直人

1. はじめに

公認心理師カリキュラムの検討に際し、臨床心理士養成大学院の附属臨床心理相談室（以下学内相談室）の状況の把握が課題となっているため、全国の臨床心理士養成大学院の学内相談室が発行している紀要に基づいて分析を行った。

2. 結果

紀要が入手できた大学院の総数は153校であり、紀要に掲載された相談実績より年間の新規相談受付数、総面接回数、修士課程院生数、教員や専任カウンセラーなどを含むスタッフ総数を集計した。153校のうち、上記の4変数がすべて記載されていた114校を集計の対象とした。新規相談受付数と総面接回数はそれぞれ2倍し、院生の修業年限である2年間に学内相談室で受け付ける新規相談受付数と、2年間に学内相談室で行われる総面接回数を推定した。

2年分の新規相談受付数を修士課程院生数で除し、院生1人が2年間で担当し得る平均新規相談受付数を算出した。114校の平均は6.1人であった。算出された院生1人あたり2年分担当可能新規相談受付数の大学院間でのばらつきをみるために、階級の幅を1人として度数（校）、相対度数、累積相対度数を計算し表1に示した。

表1 院生1人あたり2年分担当可能新規相談受付数のばらつき

	0人以上	1人以上	2人以上	3人以上	4人以上	5人以上	6人以上	7人以上	8人以上	9人以上	10人以上	11人以上	12人以上	13人以上	14人以上	15人以上	計
	1人未満	2人未満	3人未満	4人未満	5人未満	6人未満	7人未満	8人未満	9人未満	10人未満	11人未満	12人未満	13人未満	14人未満	15人未満		
度数(校)	3	7	13	19	17	11	11	5	7	3	4	6	0	3	2	3	114
相対度数	2.6%	6.1%	11.4%	16.7%	14.9%	9.6%	9.6%	4.4%	6.1%	2.6%	3.5%	5.3%	0.0%	2.6%	1.8%	2.6%	100.0%
累積相対度数	2.6%	8.7%	20.1%	36.8%	51.7%	61.4%	71.0%	75.4%	81.5%	84.2%	87.7%	93.0%	93.0%	95.6%	97.3%	100.0%	

次に2年分の総面接回数をスタッフ総数で除し、院生1人が2年間で経験すると推定される平均総面接回数を算出した。114校の平均は、59.4回であった。算出された院生1人あたり2年分総面接回数の大学院間でばらつきをみるために、階級の幅を10回として度数（校）、相対度数、累積相対度数を計算し表2に示した。

表2 院生1人あたり2年分推定総面接回数のばらつき

	0回以上	10回以上	20回以上	30回以上	40回以上	50回以上	60回以上	70回以上	80回以上	90回以上	100回以上	110回以上	計
	10回未満	20回未満	30回未満	40回未満	50回未満	60回未満	70回未満	80回未満	90回未満	100回未満	110回未満		
度数(校)	2	5	10	24	10	14	16	8	8	4	8	5	114
相対度数	1.8%	4.4%	8.8%	21.1%	8.8%	12.3%	14.0%	7.0%	7.0%	3.5%	7.0%	4.4%	100.0%
累積相対度数	2.0%	6.4%	15.2%	36.2%	45.0%	57.3%	71.3%	78.3%	85.3%	88.8%	95.9%	100.2%	

(以上)